

「**福島**の責任貫徹」と「**企業価値向上**」の実現に向け、
全ての取り組みを**シンカ（進化・深化）**

キーワードは「**稼ぐ力**」の強化
(廃炉・賠償での5,000億の確保に加え、
10年後以降は4,500億の利益創出)

徹底的な合理化・コストダウン

効率化
収益力拡大
企業価値向上

「**カイゼン**」活動を高度化し、
さらなる生産性向上

原子力・送配電分野における
再編・統合など他社との協業

省エネ進展、
人口減少等による
エネルギー市場
の縮小



新領域開拓による**トップライン拡大**を目指す必要

■ 新たな事業の「柱」とバリューチェーンの構築

- ✓ パリ協定に基づく国際的な再生可能エネルギーへの期待
- ✓ 再エネ導入コストの低減傾向
- ✓ 水力・風力発電事業における当社グループのノウハウ

国内外の
再生可能エネルギー
事業の推進

再エネ導入の促進には、ネットワーク接続上の
課題も認識

← 電気事業者独自の強みを生かし、様々な
ソリューションを提供可能

■ 再生可能エネルギー事業推進に向けた基盤整備

- ✓ 東電グループの総力を結集
- ✓ 事業推進を「**みらい経営委員会**」の検討テーマに設定
- ✓ **2018年度中を目途に、ホールディングスを中心に検討**
 - ・有望なエリア、事業内容、事業規模、グループ全体の推進体制

世界で通用する**グローバルユーティリティ企業**を目指すとともに、**福島への責任の貫徹し、信頼を積み重ねてまいります**